

2011年度 (社)尾道青年会議所

第12回(新旧)理事会



日時：2011年12月 7日(水) 19:00～

場所：尾道国際ホテル

第12回（新旧）理事会

資料一覧

[議事次第]

1. 第12回（新旧）理事会

[理事長報告]

[資料]

- | | |
|--|--------|
| 1. 海フェスタへの支援・企画・参画 事業報告（案）決算（案） | 1-1～ 6 |
| 2. 地域経済発展をねらった「尾道プライド」育成の調査・研究・実践 事業報告（案）決算（案） | 2-1～ 2 |
| 3. 尾道の持つ遊休資源を利用したまちづくり 事業報告（案）決算（案） | 3-1～ 5 |
| 4. 11月例会行事 事業報告（案）決算（案） | 4-1～ 5 |
| 5. 新入会員研修 事業報告（案）決算（案） | 5-1～ 4 |
| 6. 卒業例会 事業計画（案）予算（案） | 6-1～ 8 |
| 7. 2012年度(社)尾道青年会議所 役員承認 | |
| 8. 2012年度(社)尾道青年会議所 事業計画（案）予算（案） | 7-1～16 |
| 9. 2012年度(社)尾道青年会議所 一般会計収支予算（案） | 8-1～ 5 |
| 10. 新年宴会 事業計画（案） | 9-1～ 2 |

2011年度（社）尾道青年会議所 第12回（新旧）理事会

日時：2011年12月7日（水）19:00～

場所：尾道国際ホテル

次 第

1. 開 会
2. 点 鐘
3. JCI クリード唱和
4. JC 宣言朗読並びに綱領唱和
5. 出席者の確認
6. 配布資料の確認
7. 前回議事録の承認
8. 議事録作成者並びに議事録署名人の指名
9. 議題の確認
10. 理事長挨拶
11. 直前理事長挨拶
12. 理事長報告
13. 委員会報告
14. 審議事項
 - 第 1号議案 海フェスタへの支援・企画・参画 事業報告（案）決算（案）に関する件
 - 第 2号議案 地域経済発展をねらった「尾道プライド」育成の調査・研究・実践
事業報告（案）決算（案）に関する件
 - 第 3号議案 尾道の持つ遊休資源を利用したまちづくり 事業報告（案）決算（案）に関する件
 - 第 4号議案 11月例会行事 事業報告（案）決算（案）に関する件
 - 第 5号議案 新入会員研修 事業報告（案）決算（案）に関する件
 - 第 6号議案 卒業例会 事業計画（案）予算（案）に関する件
 - 第 7号議案 2012年度（社）尾道青年会議所 役員承認 に関する件
 - 第 8号議案 2012年度（社）尾道青年会議所 事業計画（案）予算（案）に関する件
 - 第 9号議案 2012年度（社）尾道青年会議所 一般会計収支予算（案）に関する件
 - 第10号議案 新年宴会 事業計画（案）に関する件
 - 第11号議案 その他
15. 協議事項
 - 第 1号議案 その他
15. 報告依頼事項
16. 連絡事項
17. 監事講評
18. 次回開催日の確認
19. 閉 会
20. 点 鐘

理事長報告

11月7日 第11回理事会	於：尾道国際ホテル
11月13日 くるり尾道	於：尾道市内
11月16日 11月例会	於：尾道国際ホテル
11月20日 仮入会員研修	於：尾道市内
11月24日 しまなみ3JC	於：ホテルいんのしま
11月25日 第12回正副理事長会議	於：事務局
11月26日 広島ブロック協議会 会員会議所	於：尾道国際ホテル
11月27日 中国地区協議会 会員会議所	於：
11月30日 追い出し野球大会	於：福山市民球場
12月2日 シニアクラブ	於：西山別館
12月4日 クリスマス会	於：グリーンヒルホテル
12月7日 第12回理事会(新旧)	於：尾道国際ホテル

事務局連絡

12月15日 12月例会(卒業例会)	於：尾道国際ホテル
12月26日 第13回正副理事長会議	於：事務局
上程締め切り 19日 17:00まで	

委員会報告

期間:2011年11月2日～12月3日

委員会名	日時	場所	議題
ブロック会員研修 実行委員会	11月2日	ベイタウン	新入会員研修について
	11月11日	佐藤工務店	新入会員研修について
	11月19日	佐藤工務店	新入会員研修について
夢のまち創造委員会	11月2日	ベイタウン	クリスマス会について
社会開発委員会	11月2日	ベイタウン	ベッチャー祭りについて
尾道経済活性化委員会	11月2日	ベイタウン	大てっぱん博について
次代の宝育成委員会	11月2日	ベイタウン	10月例会について
LOVELまなみ委員会	11月2日	ベイタウン	卒業例会について
	11月10日	301号室	卒業例会について
	11月16日	国際ホテル	卒業例会について
	11月29日	事務局	卒業例会について
PEACEおのみち委員会	11月2日	ベイタウン	くるり尾道について
	11月8日	事務局	くるり尾道について
	11月10日	事務局	くるり尾道の準備・11月例会について
	11月11日	事務局	くるり尾道の準備・11月例会について
	11月15日	事務局	11月例会・くるり尾道の事業について

(社) 尾道青年会議所 事業報告 (案) 決算 (案)

審議事項

委員会名：夢のまち創造委員会

委員長名：坂本 篤勇

(1) 議案名 海フェスタへの支援・企画・参画 事業報告 (案) 決算 (案) に関する件

(2) 事業名 がんばろうNIPPON ～届けよう希望の光・夢・未来～

(3) 事業目的 (趣旨)

a. (対外)

東日本大震災の発生から約3ヶ月が経過した今、各地の復興は進んでいるかの様に思われています。しかしながら、実際の被災地においては、支援状況が地域によって格差を生んでおり、全く支援がなされていない地域も少なくありません。中には不明者の捜索さえも十分に行われていないと思われるような手付かずの地域も存在していると聞いております。支援が進んでいる地域も道路、水道、電気などの主要インフラ復旧を優先せざるを得ず、個人の生活再建に向けた支援が進んでいるとは決して言えない状況にあります。

我々の住む西日本においては、現地の状況を把握する手立てはメディア発信の情報に頼らざるを得ず、被災地の細かい状況を把握する事も出来ない状況にあります。その為、どのような支援が必要なのかさえも見出せないのが現状ではないでしょうか。その様な状況の中、被災地の方々は実際の被害に加え、生活再建をしていく為の支援が得られていない事への不安が、重圧として押し掛かっているのではないかと思います。その様な不安を少しでも解消すべく、現地の情報を的確に伝え、支援の輪を広げる活動を広げる事を目的に、長期に亘る支援の枠組みを検討したいと考えます。まずは次年度へ延期された海フェスタの代替行事、東日本大震災復興支援イベント「おのみち灯りプロジェクト」で7月23日(土)に開催される「シーサイドパレード」において、ブース出展をし、募金活動及び被災地支援の啓蒙活動を実施したいと考えます。その後についても、同じく東日本大震災復興支援イベント「おのみち灯りプロジェクト」の関連イベントに位置付けられている住吉花火大会にもブース出展をし、募金活動及び被災地支援の啓蒙活動を行って行きたいと考えます。

b. (対内)

被災地に今必要な事、それは日本中の人々がもう一度現地に目を向け、復興に対して共に取り組むことだと考えます。少しでも多くの人々が支援をする事で、復興の速度は早まります。私達がやらなくても誰かがやることかもしれません。しかし、私達がやることで他の誰かの力と合わさり、復興への速度がさらに増していく事は間違いありません。日本復興の為、私達の英知と勇気と情熱を現地に注ぎ込み、一人のJACEEとして、一人の国民として、責務を果たしていきたいと考えます。

(4) 実施日時 2011年7月23日(土)～10月23日(日)

(5) 場所	シーサイドパレード	会場	7月23日
	住吉花火大会	牛ちゃん隣広場	7月30日
	尾道ライオンズクラブ	例会	8月23日
	しまなみ音楽フェス	会場	8月28日
	尾道ロータリークラブ	例会	9月30日
	てっぱん博	会場	10月23日

(6) 参加人員 内部 約20名 外部 約10名 計 約30名
(外部内訳：尾道大学 学生ボランティア)

(7) 外部協力者
尾道大学 学生ボランティア

(8) 事業の目的は達したか？

7月23日のシーサイドパレードパレードから10月23日のてっぱん博まで、計6回の活動を実施致しました。

結果としては、858,599円の支援金を得ることができました。

この内、258,000円はマグネット費用・ブース設置費用として使用させて頂き、残りの600,599円を支援金として使用致しました。(一部は12月に使用予定)

集まった支援金にて福島県相馬市周辺の保育園・幼稚園に必要な物を送るという支援と、現地の状況を尾道にも伝えるという啓蒙活動を目的として行った活動でありましたが、計6回の活動により目的は達成できたものと考えております。

子供達に笑顔を届けるという支援活動で、園児よりたくさんの御礼状を頂きました。また12月には相馬市の保育園2箇所にクリスマスプレゼントを届ける事も予定しております。

各行事で設置した支援ブースにおいても福島県相馬市周辺の被害状況をパネル展示により伝えることで寄付をして下さった支援者の方々にも状況を良く伝える事ができたと思っております。支援者の多くの方からは、『自分たちの変わりに支援の気持ちを届けてほしい』といった声を多く頂き、支援先の保育園にもその内容をお伝えしました。

保育園の関係者の方からも、『遠く離れた尾道の方々からこのような支援が頂けて本当に嬉しく思う』といったお声を頂いております。

用意したマグネットは2,000枚であり、現在420枚が余っておりますが、活動自体には大きな意味があったと認識しており、事業も目的は果たせたものと考えております。

(9) 実施上の問題点

特になし。

(10) 次年度への引継事項

現時点で余っている420枚のマグネットステッカーは次年度でも引き続き使用頂ければと考えております。

但し、募金活動のみで支援金を集めていくのは今年よりも更に難しくなると思われまます。支援をして下さる方々も今までに色々な場所で募金をせれており、現時点では募金を募っていくこと自体が難しい状況になっているかと思ひます。

次年度はチャリティーイベントなどを検討し、その収益を義援金に充てる方法などが好ましいものと考えます。

その際にはマグネットステッカーも有効に活用を頂ければと考えております。

(11) 委員長所見

必要な物資を必要な場所に届け、子供達の笑顔を少しでも増やしたいという支援活動と、的確な情報を尾道周辺に伝えるという啓蒙活動を目的として行った当活動は皆様のご協力により計6回実施する事ができ、活動自体も目的を達する事ができたと思ひております。

支援ブース設置及び運営については他委員会の皆様にも多大なるご協力を頂き、活動を続ける事が出来ました。この場をお借り致しまして、御礼申し上げます。

また、尾道ライオンズクラブ様・尾道ロータリークラブ様からもご協力を頂いた事により、今後の支援活動にも幅が広がったのではないかと考えております。

支援を頂いた2団体様へはお礼も兼ねて支援の報告へ行く予定としております。この繋がりを大切にし、次年度以降も支援を幅広く行って頂ければと思ひております。

(12) 添付資料

事業収支計算書 (案)

収支計算明細書 (案)

復興活動支援報告書 (参考資料)

理事会 2011年12月 7日

事業収支計算書(案)

事業名 がんばろうNIPPON ～届けよう希望の光・夢・未来～

収入の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差異	備考
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入				0	
	事業費繰入収入	事業予備費繰入収入				0	
	登録料収入					0	
	懇親会収入					0	
	販売収入			0	719,200	-719,200	
	広告料収入					0	
補助金等収入	負担金収入					0	
	雑収入					0	
	国庫補助金収入					0	
	地方公共団体補助金収入					0	
	民間補助金収入					0	
	国庫助成金収入					0	
寄付金収入	地方公共団体助成金収入					0	
	民間助成金収入					0	
	寄付金収入					0	
	募金収入			316,365	139,399	176,966	
収入合計				316,365	858,599	-542,234	

支出の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差異	備考		
事業費支出	事業費支出	会場設営費支出	人件費支出			0			
			食事代支出			0			
			会場費支出			0			
			設営費支出			0			
			運送費支出			0			
			レンタル料支出			0			
		小計	0	0	0				
		企画演出費支出	人件費支出				0		
			食事代支出				0		
			企画費支出			258,000	-258,000		
			演出費支出			0			
			旅費交通費支出			0			
			小計	0	258,000	-258,000			
		本部関係費支出	人件費支出				0		
			食事代支出				0		
			会場費支出				0		
			設営費支出			0			
			旅費交通費支出			0			
			通信費支出			0			
			運送費支出			0			
			消耗品費支出			0			
			レンタル料支出			0			
			保険料支出			0			
			渉外費支出			0			
		小計	0	0	0				
		講師関係費支出	食事代支出				0		
			旅費交通費支出				0		
			宿泊費支出				0		
			保険料支出				0		
			諸謝金支出				0		
			会合費支出				0		
			記念品代支出				0		
		小計	0	0	0				
		広報費支出	運営費支出				0		
			会場費支出				0		
			設営費支出				0		
			通信費支出				0		
			消耗品費支出				0		
			レンタル料支出				0		
			作成費支出				0		
			P R 費支出				0		
		小計	0	0	0				
		資料作成費支出	通信費支出				0		
			資料費支出				0		
			消耗品費支出				0		
			レンタル料支出				0		
			作成費支出				0		
		小計	0	0	0				
		報告書作成費支出	通信費支出				0		
			資料費支出				0		
			消耗品費支出				0		
			レンタル料支出				0		
			作成費支出				0		
		小計	0	0	0				
		懇親会費支出	人件費支出				0		
			会場費支出				0		
			設営費支出				0		
			旅費交通費支出				0		
			運送費支出				0		
			レンタル料支出				0		
			保険料支出				0		
			飲食費支出				0		
			アトラクション費支出				0		
		小計	0	0	0				
		渉外費支出	役員渉外費支出				0		
		小計	記念品代支出				0		
		小計	0	0	0				
		旅費交通費支出	旅費支出				0		
			交通費支出				0		
			宿泊費支出				0		
		小計	0	0	0				
		参加記念品代支出				0			
		保険料支出				0			
		通信費支出				0			
		販売物品仕入支出				0			
		雑費支出				0			
		事業予備費支出				0	600,599	-600,599	
		余剰金					0		
		支出合計				0	858,599		

●余剰金 ¥0 については本理事会承認後、事業予備費に繰入れる。

復興支援活動に関する報告書

・マグネットステッカーの販売実績

開催日	場所	枚数	単価	売上金額
7月23日	シーサイドパレード	394	¥500	¥197,000
7月30日	住吉花火	263	¥500	¥131,500
8月23日	ライオンズ 例会	270	¥500	¥135,000
8月28日	しまなみ音楽フェス	185	117円30銭	¥21,700
9月30日	ロータリー 例会	322	¥500	¥161,000
10月23日	てっぱん博	120	¥500	¥60,000
その他		26	¥500	¥13,000
	合計	1580		¥719,200

※しまなみ音楽フェスにおける収益はすべて気仙沼に寄附

・マグネットステッカーの在庫

在庫=420枚

・支出

支払日	金額(円)	支払内容	適用	支払
8月10日	239,016	マグネット、ステッカー	企画演出費	決済
8月22日	233,940	ダイソン	相馬/相馬保育園・みなと保育園	決済
9月22日	79,695	高圧洗浄機	南相馬/なかよし保育園	立替
9月7日	41,859	イオン(野菜・菓子類)	南相馬/なかよし保育園	立替
9月7日	8,136	イオン(乳幼児食品)	南相馬/なかよし保育園	立替
10月11日	49,413	果物	南相馬/なかよし保育園	決済
11月10日	18,984	パネルレンタル	企画演出費(てっぱん博)	決済
11月10日	20,396	冷凍食品	南相馬/なかよし保育園	決済
12月8日	167,160	未定	尾道JC義捐金会計と合算して使用予定	
合計	858,599			

・収入

入金日	金額	適用
7月25日	289,132	シーサイドパレード
8月1日	128,397	住吉花火大会
9月12日	156,700	ライオンズ(135,000円)+音楽フェス(21,700円 ステッカーの原価185枚分)
11月10日	161,000	ロータリー
11月10日	123,370	てっぱん博
合計	858,599	

(社) 尾道青年会議所 事業報告 (案)

審議 事項

委員会名：尾道経済活性化委員会

委員長名：小林 輝久

(1) 議案名 地域経済発展をねらった「尾道プライド」育成の調査・研究・実践
事業報告(案)に関する件

(2) 事業名 『おのみち大てっぱん博2011』 東北支援ブースの運営

(3) 事業目的(趣旨)

a. (対外)

農林水産省の『食べて応援しよう!』プロジェクトを活用し東北の一次産業支援と尾道駅前に人出を創出し、尾道の経済活性化に寄与する。

b. (対内)

3月に支援物資を届けさせていただいた大船渡の『秋さんま』を中心に東北の物産をてっぱんで調理し尾道の皆さんに味わっていただき東北の物産を食べて応援しようではありませんか!

(4) 実施日時 2011年10月22日(土) 10時00分~17時00分
10月23日(日) 10時00分~16時00分

(5) 場 所 尾道駅前緑地帯

(6) 参加人員 内部 40名 外部 0名 計 40名
(内部内訳:)

(7) 外部協力者 カタオカ(株) (有)いっとく

(8) 事業の目的を達したか?

マスコミ発表によると会場へ2日間で6万人の動員がありました。

秋刀魚1000匹も見事に完売することが出来き、東北支援が出来たと思います。

また会場の中央部で賑わいを演出出来、祭り全体の盛り上がりにつながったと思います。

(9) 実施上の問題点

東北物産販売ブースと募金ブースへの集客が弱く、「わんこそば大会」などで導線を付けようと努力はしたものの、結果的にはあまり寄与出来なかった。

(10) 次年度の引き継ぎ事項

今年度は青年会議所からの実行予算はありませんでした、また準備・片付け等も各団体と分担することで、負担を軽くすることが出来ました。今後も共催という形で協力するのであれば、この様な方法で継続出来れば会員の負担がなるべく軽く済むと思います。

企画内容についてですが、B級グルメ・てっぱん等ではすでに集客がむずかしく感じられます。次年度からは、地場の魚や特産品などを味わえる企画が必要だとのご意見を来場者から多数頂きました。

(11) 委員長所見

各委員会の皆様、依頼しておりました人数以上に各委員会メンバーに参加していただき誠に御礼申し上げます。

理事会 2011年 12月 7日

(社)尾道青年会議所 事業報告(案)決算(案)

審議 事項

委員会名：PEACEおのみち委員会
委員長名：片岡 彰一郎

(1) 議案名 尾道の持つ遊休資源を利用したまちづくり事業報告(案)決算(案)に関する件

(2) 事業名 尾道の観光案内冊子作成「くるり尾道」

(3) 事業目的(趣旨)

a. (対外) 尾道は、古くは飛鳥時代から栄えていたと伝えられ、瀬戸内海の中心地として発展してきた歴史があります。1000年以上の歴史の中で、失われたことや忘れられていることが多くあります。それらにスポットを当てて、失われた文化遺産の復興に取り組むNPO法人や我々青年会議所の活動を紹介する冊子を作成いたします。また、茶園文化や良神社の八角神輿などまだまだ知られていない文化遺産も多くあり、それらを冊子に盛り込み、市民や観光客に尾道の歴史に興味を持って頂くと同時に、尾道に誇りを持って頂けるような内容にいたします。

b. (対内) (社)尾道青年会議所も来年で創立55周年を迎えます。先輩方の力によって、三体神輿の復活や桜の植樹など、尾道のまちづくりに大きく貢献してきたと思います。我々も引き続き、尾道のまちづくりに貢献していくためには、もっと深く尾道の歴史を学ぶ必要があると考えます。青年経済人として、経済的な視点から尾道の歴史を考え、それらを冊子にまとめて、今後の活動の一助となるようなものを作成いたします。

(4) 実施日時 2011年 11月13日(日)

(5) 場 所 市内各所(配布先は別紙記載)
「くるり・おのみち」散策イベント：尾道駅前→シネマ尾道→住友銀行→住吉神社→良神社→長江山城戸→西国寺→久保巖島神社→正念寺→浄土寺

(6) 参加人員	冊子作成	内部	10名	外部	10名	計	23名
	刊行PR事業	内部	29名	外部	39名	計	68名

(7) 外部協力者 林良司氏、手塚弘三氏、織田恭一氏、豊田雅子氏、荒木正見氏、麻生祐雄氏、河本清順氏、永井大貴氏、坂本実央氏、浄土寺

(8) 事業の目的は達したか？

今までの観光案内冊子とは違い、現在の尾道の姿を歴史的観点から作成し、尾道市民でも知り得ない事に注目して作成いたしました。当委員会としても我々の思いを十分に表現することが出来たと思います。また、冊子や電子書籍を読んだ方の感想を聞くと、知らない事ばかりが掲載されていて面白いとの声を頂きました。また、実際に散策イベントに参加された方からは、実際に自分で歩いてみて本当に楽しかったと言って頂きました。会員、市民ともに満足頂けたと思います。これらのことから事業の目的は達成できたと考えます。

(9) 実施上の問題点

冊子作成に関して、委員会内でスポットごとに担当者を設けて、取材と執筆活動いたしました。それぞれの文体や取材の取組方に個々に差があり、すり合わせるのに多くの時間を割きました。

また、散策イベントでは当初一般参加者を50名で予定しておりましたが、実際には、50名以上の規模になると、全員に見どころを説明するのが難しく、それ以下にする必要がありました。散策参加者には高齢者や足腰の弱い方もおられましたので、休憩場所などを十分に配慮する必要があったと思います。

(10) 次年度への引継事項

冊子に関しては、多くの方にご好評を頂きました。ぜひ、続編が読みたいとの声も多く寄せられました。また、尾道学研究会の林様にご協力を頂くことで、より精度の高い冊子を作ることができたと思っております。まだまだ、尾道には旧市街地はもとより、多くの地域にこのような隠れた名スポットがあると思います。ぜひ、次年度以降もそういったことを調査・研究を行い、何らかの形で表現して頂ければ、市民はもとより、我々にも有意義なものになると思います。

また、今回の試みのひとつとして、電子書籍による無料配布を行いました。今までの常識に囚われることなく、時代の流れを読み新しい事を積極的に挑戦して頂きたいと思っております。

(11) 委員長所見

今回の事業を通して、私の想像以上に、尾道の歴史に対する市民の関心が高いことに驚かされました。そして、私たちを含めて尾道の歴史をあまり知らないのです。私たちのまちには、先人が築き上げてきた歴史と、子孫に伝えていかなければならない歴史がまだまだ多くあります。我々自身も、もっと歴史を勉強して、これからのまちづくりのヒントに繋げていく必要があると感じました。

冊子作成にご協力頂いた多くの皆様と、散策イベントに参加して頂いた皆様に感謝申し上げます。

(12) 添付資料

事業収支計算書 (案)

収支計算明細書 (案)

冊子配布先一覧 (参考資料)

理事会 2011年12月 7日

事業収支計算書(案)

事業名 尾道観光案内冊子作成「ぐるり尾道」

収入の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差異	備考
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入	300,000	300,000	0	
			事業費繰入収入			0	
			登録料収入	145,000	66,000	79,000	
			懇親会収入			0	
			販売収入			0	
			広告料収入			0	
			負担金収入			0	
補助金等収入	国庫補助金収入	国庫補助金収入	国庫補助金収入			0	
			地方公共団体補助金収入			0	
			民間補助金収入			0	
			国庫助成金収入			0	
			地方公共団体助成金収入			0	
寄付金収入	民間助成金収入	民間助成金収入	民間助成金収入			0	
			寄付金収入			0	
収入合計				445,000	366,000	79,000	

支出の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差異	備考			
事業費支出	事業費支出	事業費支出	人件費支出			0				
			食事代支出			0				
			会場費支出			0				
			会場設営費支出	会場設営費支出	会場設営費支出	会場設営費支出			0	
						運送費支出			0	
						レンタル料支出	7,400	5,880	1,520	
						小計	7,400	5,880	1,520	
						企画演出費支出	44,444	44,444	0	
			企画演出費支出	企画演出費支出	企画演出費支出	企画演出費支出	108,750	45,000	63,750	
						企画費支出	20,000	20,000	0	
						演出費支出			0	
						旅費交通費支出			0	
						小計	173,194	109,444	63,750	
			本部関係費支出	本部関係費支出	本部関係費支出	人件費支出			0	
						食事代支出			0	
						会場費支出			0	
						設営費支出			0	
						旅費交通費支出			0	
						通信費支出			0	
						運送費支出			0	
						消耗品費支出			0	
						レンタル料支出			0	
						小計	0	0	0	
			講師関係費支出	講師関係費支出	講師関係費支出	食事代支出			0	
						旅費交通費支出			0	
						宿泊費支出			0	
						保険料支出			0	
						諸謝金支出			0	
						小計			0	
			広報費支出	広報費支出	広報費支出	運営費支出			0	
						会場費支出			0	
						設営費支出			0	
						通信費支出			0	
消耗品費支出						0				
レンタル料支出						0				
小計	0	0				0				
資料作成費支出	資料作成費支出	資料作成費支出	通信費支出			0				
			資料費支出			0				
			消耗品費支出			0				
			小計	199,500	199,500	0				
報告書作成費支出	報告書作成費支出	報告書作成費支出	通信費支出			0				
			資料費支出			0				
			消耗品費支出			0				
			小計	0	0	0				
懇親会費支出	懇親会費支出	懇親会費支出	人件費支出			0				
			会場費支出			0				
			設営費支出			0				
			旅費交通費支出			0				
			運送費支出			0				
			レンタル料支出			0				
			保険料支出			0				
			小計	0	0	0				
渉外費支出	渉外費支出	渉外費支出	役員渉外費支出			0				
			記念品代支出			0				
			小計	0	0	0				
旅費交通費支出	旅費交通費支出	旅費交通費支出	旅費支出			0				
			交通費支出			0				
			小計	0	0	0				
参加記念品代支出	参加記念品代支出	参加記念品代支出	参加記念品代支出		0	0				
			保険料支出	2,960	2,170	790				
			通信費支出	5,000	5,000	0				
			販売物品仕入支出		0	0				
			雑費支出	56,946	315	-315				
事業予備費支出				56,946	315	-315				
余剰金					43,691					
支出合計				445,000	366,000					

● 余剰金 43,691円については本理事会承認後、事業予備費に繰り入れる。

(社) 尾道青年会議所 事業報告 (案) 決算 (案)

審議 事項

委員会名：P E A C Eおのみち委員会

委員長名：片岡 彰一郎

(1) 議案名 1 1 月例会行事 事業報告 (案) 決算 (案) に関する件

(2) 事業名 1 1 月例会行事 テーマ「歴史を学び、自分を知り、尾道の未来を創ろう」

(3) 事業目的 (趣旨)

a. (対外)

b. (対内) 尾道は交通の要所として、商人の町として栄えてきた歴史があります。

それは地理的に優位であったこともありますし、昔から優秀な人材を育んできた歴史でもあります。我々も歴史に学びこれからの尾道の発展につなげていかなければなりません。そのためには、広い視野を持ち大局的な見地から物事を考えなければなりません。

1 1 月例会では、九州大学哲学会会長の荒木正見教授をお招きして、広い視野を持つためのトレーニングを行い、尾道の歴史を学び、将来の尾道について考えてみたいと思います。

(4) 実施日時 2 0 1 1 年 1 1 月 1 6 日 (水) 1 9 時 4 0 分～ 2 0 時 5 0 分

(5) 場 所 尾道国際ホテル

(6) 参加人員 内部 8 4 名 外部 3 名 計 8 7 名
(外部：荒木氏 尾道学研究会：天野氏、林氏)

(7) 外部協力者 荒木 正見様

(8) 事業の目的は達したか？

例会行事を企画する段階で、「くろり尾道」の作成でご協力頂いた尾道学研究会を通じ荒木先生と出会いました。打ち合わせを繰り返す中、先生の得意分野と我々会員が今後の活動において勉強すべき部分が一致すると考え、今回の例会の趣旨に至りました。日頃の我々の取り組みや考えを説明し、先生が多方面で行なっている講演やセミナーを良い形で会員に伝えて頂くようお願いし快諾を頂きました。

「歴史には隠された部分や見えないものがあり、一方向からだけではその部分はいわからない。広い視野を持って取り組むべきであり、歴史を見ることだけでなく生活をしていく上でも大切であり、そのような見地から尾道の未来を考えていかなければな

らない。」という話を先生にして頂く予定でした。

趣旨に沿った内容で講演を進めて頂く予定でしたが、当日は先生のお話が多岐に及んでしまいました。心理テストを活用し、自分を深く掘り下げ、気づきを持って頂くことや、グループディスカッションを通じて尾道の未来を考えて頂くことなどの予定していた内容の全てを行うことができないまま講演が終了してしまいました。結果、当委員会の趣旨・目的を会員に100%お伝えすることができないまま例会行事が終わってしまいました。

ただ、日頃の我々の生活や活動には固定概念に囚われてしまう部分も多々あることや、広い視野を持って物事を考える事の大切さを少しは感じて頂けたと思います。

また、尾道は歴史的に大変興味深いまちであり、これからも我々がそのまちづくりを担っていく責任があることは認識して頂けたのではないかと考えております。

(9) 実施上の問題点

予定していた内容を完結することができませんでした。

(10) 次年度への引継事項

この度の例会行事はメンバーを対象として講師が進行する体內的な例会でした。講師例会を企画する上では、何を伝え、感じて欲しいか、勉強していただきたいかを十分に考え、講演を通じてメンバーに何かしらのプラスなることを最重要視すべきことであると思います。その中で、講師の資質を見抜き、委員会の趣旨・目的を講師に十分理解していただき、どのような講演がメンバーにとって本当に有意義になるものになるかを考えなければなりません。

先生に講演をして頂く上で、気になる部分を全て解決するために、博多まで何度か出向いて打ち合わせを繰り返してきました。それでも、当日は委員会の望んでいた内容に至りませんでした。講師例会で講師を決める際には、講師の方の肩書きや評価・評判で決めることが多いと思いますが、それだけで判断するのではなく、実際に講演を聞いたり、著書を読んだり、講師と接することが重要だと考えます。その上で、委員会で良く話し合い、本当にこの人の話を聞いてみたい、メンバー皆に聞いてもらいたいと思える方を熟慮し、講師として迎えて頂くにより有意義な例会行事になると思います。

(11) 委員長所見

今回の例会で、講師例会の難しさを痛感いたしました。先生が尾道にお越しの際や博多での打ち合わせをする中で、一緒に例会の進め方を考えてきました。時間配分についても、一緒に考えました。しかし、結果として時間内に全ての事を伝えて頂くことはできませんでした。

私は先生に対して例会の内容について細部に渡って注文やお願いをいたしました。

振り返ってみるとそれは、先生に対する過剰な要求であったと思います。結局、先生の良い部分を引き出すどころか、私が要求することによって、先生の良さを消してしまったような気がいたします。

それでも、多くの会員の方に出席頂き、多くの方に少しでも我々の伝えたい事を理解して頂けたのであれば、幸いに思います。これからは、委員長の経験を生かして、尾道青年会議所のために少しでも役に立てるように頑張ります。11月例会に本当に多くのメンバーにご出席頂き、誠にありがとうございました。

(12) 添付資料

事業収支計算書 (案)

収支計算明細書 (案)

理事会 2011年12月 7日

事業収支計算書(案)

事業名 11月例会行事 テーマ「歴史を学び、自分を知り、尾道の未来を創ろう」

収入の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差異	備考
事業収入	事業費	繰入収入	事業費繰入収入	60,000	60,000	0	
		繰入収入	事業費繰入収入	40,000	40,000	0	
		登録料収入				0	
		懇親会収入				0	
		販売収入				0	
		広告料収入				0	
		負担金収入				0	
補助金等収入	国庫補助金	収入			0		
		地方公共団体補助金収入			0		
		民間補助金収入			0		
		国庫助成金収入			0		
		地方公共団体助成金収入			0		
寄付金収入	民間助成金	収入			0		
		収入			0		
収入合計				100,000	100,000	0	

支出の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差異	備考	
事業費支出	事業費	会場設営費	支出			0		
			人件費支出			0		
			食事代支出			0		
			会場費支出			0		
			設営費支出	7,000	7,000	0		
		小計	運送費支出			0		
			レンタル料支出			0		
			小計	7,000	7,000	0		
			企画演出費	支出			0	
				人件費支出			0	
		食事代支出				0		
		企画費支出				0		
		演出費支出				0		
		小計	旅費交通費支出			0		
			小計	0	0	0		
			本部関係費	支出			0	
				人件費支出			0	
				食事代支出			0	
		会場費支出				0		
		設営費支出				0		
		旅費交通費支出				0		
		通信費支出				0		
		運送費支出				0		
		消耗品費支出				0		
		レンタル料支出				0		
		小計	保険料支出			0		
			渉外費支出			0		
小計	0		0	0				
講師関係費	支出				0			
	食事代支出				0			
	旅費交通費支出	22,180	19,450	2,730				
	宿泊費支出	8,505	8,505	0				
	保険料支出			0				
小計	諸謝金支出	55,555	55,555	0				
	会合費支出			0				
	記念品代支出			0				
	小計	86,240	83,510	2,730				
	広報費	支出			0			
運営費支出				0				
会場費支出				0				
設営費支出				0				
通信費支出				0				
消耗品費支出				0				
レンタル料支出				0				
作成費支出		1,000	1,000	0				
PR費支出				0				
小計		1,000	1,000	0				
資料作成費	支出			0				
	通信費支出			0				
	資料費支出			0				
	消耗品費支出			0				
小計	レンタル料支出			0				
	作成費支出			0				
	小計	0	0	0				
	報告書作成費	支出			0			
通信費支出				0				
資料費支出				0				
消耗品費支出				0				
小計	レンタル料支出			0				
	作成費支出			0				
	小計	0	0	0				
	懇親会費	支出			0			
人件費支出				0				
会場費支出				0				
設営費支出				0				
旅費交通費支出				0				
運送費支出				0				
レンタル料支出				0				
保険料支出				0				
飲食費支出				0				
アトラクション費支出				0				
小計	小計	0	0	0				
	渉外費	支出			0			
小計	役員渉外費支出			0				
	記念品代支出			0				
旅費交通費	支出			0				
	旅費支出			0				
	交通費支出			0				
小計	宿泊費支出			0				
	小計	0	0	0				
	参加記念品代支出			0				
事業予備費	支出			0				
	保険料支出			0				
	通信費支出			0				
	販売物品仕入支出			0				
小計	雑費支出			0				
	小計	5,760	5,760	0				
余剰金					8,490			
支出合計				100,000	100,000	0		

●余剰金 8,490円 については本理事会終了後、事業予備費に繰り入れる

収支計算明細書(案)

事業名 月例会行事 テーマ「歴史を学び、自分を知り、尾道の未来を創る」

<収入明細書>

中科目	小科目	細目	摘要	予算額	決算額	差異	備考
事業費繰入収入	事業費繰入収入			60,000	60,000	0	
	事業予備費繰入収入			40,000	40,000	0	
		合 計		100,000	100,000	0	

<支出明細書>

中科目	小科目	細目	摘要	予算額	決算額	差異	備考	
事業費支出	会場設営費支出	設営費支出	例会看板	7,000	7,000	0	(有)メディアジャンクション	
			小 計		7,000	7,000	0	
		講師関係費支出	旅費交通費支出	博多～新尾道	22,180	19,450	2,730	JR
			宿泊費支出		8,505	8,505	0	尾道国際ホテル
			諸謝金支出	講師謝礼	55,555	55,555	0	荒木正見氏
			小 計		86,240	83,510	2,730	
		資料作成費支出	作成費支出	1円×10枚×100	1,000	1,000	0	事務局
			小 計		1,000	1,000	0	
		小 計		0	0	0		
		小 計		0	0	0		
	参加記念品代支出							
	保険料支出							
	通信費支出							
	販売物品仕入支出							
	雑費支出							
事業予備費支出				5,760				
		余 剰 金			8,490			
		支 出 合 計		100,000	100,000			

(社) 尾道青年会議所 事業報告 (案) 決算 (案)

審議事項

委員会名：ブロック会員研修実行委員会
副実行委員長名：佐藤敏章

(1) 議案名 新入会員研修 事業報告 (案) 決算 (案) に関する件

(2) 事業名 新入会員研修

(3) 事業目的 (趣旨)

a. (対外)

b. (対内)

新入会員研修では、一人一人が自分を見つめ直し、また故郷の尾道を見つめ直すことで、尾道青年会議所の活動指針にある、明るい豊かな社会が実現できるような青年会議所活動の役に立てて頂くことを目的と致します。

(4) 実施日時 2011年11月20日 (日) 10:00~17:30

(5) 場 所 しまなみ交流館、尾道市内

(6) 参加人員 内部17名 外部3名 計20名
(内部内訳：理事長・直前理事長・専務理事・担当副理事長・
理事セクレタリー、セクレタリー2名、新入会員4名、
前年度新入会員研修未受講者1名、ブロック会員研修実行委員会5名)

(7) 外部協力者 社団法人中津青年会議所 中島 宏一郎 君 (ヘッドトレーナー)
社団法人宝塚青年会議所 中島 公司 君 (アシスタント)
社団法人大阪青年会議所 山本 真基子 君 (アシスタント)

(8) 事業の目的は達したか?

第1部では、2回のJCゲームを行いました。1回目は基本的なルール説明ののちゲームをスタートし、ゲーム終了後振り返り・検証を行いました。その後、2回目は全員が明確な目標 (ゲーム内では理事長になる) をもって行いました。結果、だれも理事長にはなることが出来ませんでした。ほとんどの人が高い得点を得ることができました。このことから何事にも目標をもって取り組む事の大切さを学び、一人ひとりが自分を見つめ直す事ができました。また今後のJC活動について真剣に考える機会を設けることができ、今後の意欲を駆立てることができたと考えます。

第2部では、サイクリングロードとして注目が集っているしまなみ街道を実際にサイクリングをしました。サイクリングロードは平坦な道ばかりではありません。また当日は風もあり、一人では簡単にゴールできなかつたと思います。同期の仲間や先輩たちと一緒に走ることにより、全員が怪我なくゴールすることが出来ました。サイクリングを通じて忍

耐や仲間の大切さを感じて頂けたと思います。また秋空のもと、しまなみの美しい景色を見て、尾道の新たな魅力も感じて頂けたと思います。

以上のように、自分自身及び尾道の事をより知ることにより、今後の青年会議所活動に役立って頂けると思います。

(9) 実施上の問題点

残念ながら全員参加とはなりませんでしたが、一日の研修でしたので、午前・午後だけでも参加できないかと案内してみましたが、難しかったようです。

(10) 次年度への引継事項

日本J C公認プログラムを使用しました。J Cゲーム以外にも様々なプログラムがあります。年初の京都会議のセミナーにて実際に体験することが出来ます。積極的に参加し、LOM内の事業に取り入れてください。

(11) 委員長所見

J Cゲームとサイクリングで自分自身と故郷を見つめなおせる有意義な研修になったと思います。

参加していただいた皆様には1日という長時間でしたが、最後まで参加して頂きありがとうございました。また、皆様のご協力により事故もなく無事終了できたことに感謝申し上げます。

(12) 添付資料

事業収支計算書(案)

収支計算明細書(案)

理事会2011年12月 7日

事業収支計算書(案)

事業名 新入会員研修

収入の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差異	備考
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入		50,000	50,000	0	
		事業費繰入収入	事業予備費繰入収入	52,000	52,000	0	
		登録料収入		35,000	16,000	19,000	
		懇親会収入				0	
		販売収入				0	
		広告料収入				0	
		負担金収入				0	
補助金等収入	国庫補助金収入	国庫補助金収入				0	
		地方公共団体補助金収入				0	
		民間補助金収入				0	
		国庫助成金収入				0	
		地方公共団体助成金収入				0	
寄付金収入	民間助成金収入	民間助成金収入				0	
		寄付金収入				0	
		募金収入				0	
収入合計				137,000	118,000	19,000	

支出の部

大科目	中科目	小科目	細目	予算額	決算額	差異	備考		
事業費支出	事業費支出	会場設営費支出	人件費支出			0			
			食事代支出			0			
			会場費支出	12,200	12,400	-200			
			設営費支出	4,400	0	4,400			
			運送費支出			0			
			レンタル料支出	16,500	5,000	11,500			
		小計				33,100	17,400	15,700	
		企画演出費支出	企画演出費支出	人件費支出			0		
				食事代支出			0		
				企画費支出			0		
				演出費支出			0		
		小計				0	0	0	
		本部関係費支出	本部関係費支出	人件費支出			0		
				食事代支出			0		
				会場費支出			0		
				設営費支出			0		
				旅費交通費支出			0		
				通信費支出			0		
				運送費支出			0		
				消耗品費支出			0		
				レンタル料支出			0		
				保険料支出			0		
		小計				0	0	0	
		講師関係費支出	講師関係費支出	食事代支出	1,000	1,000	0		
				旅費交通費支出	22,340	20,140	2,200		
				宿泊費支出	16,000	15,500	500		
				保険料支出			0		
				諸謝金支出			0		
				会合費支出			0		
		小計				39,340	36,640	2,700	
		広報費支出	広報費支出	運営費支出			0		
				会場費支出			0		
				設営費支出			0		
				通信費支出			0		
				消耗品費支出			0		
				レンタル料支出			0		
				作成費支出			0		
		小計				0	0	0	
		資料作成費支出	資料作成費支出	通信費支出	2,000	1,380	620		
				資料費支出			0		
				消耗品費支出			0		
				レンタル料支出	3,000	3,000	0		
		小計				5,200	4,580	620	
		報告書作成費支出	報告書作成費支出	通信費支出			0		
				資料費支出			0		
消耗品費支出					0				
レンタル料支出					0				
小計				0	0	0			
懇親会費支出	懇親会費支出	人件費支出			0				
		会場費支出			0				
		設営費支出			0				
		旅費交通費支出			0				
		運送費支出			0				
		レンタル料支出			0				
		保険料支出			0				
		飲食費支出	35,000	16,000	19,000				
小計				35,000	16,000	19,000			
渉外費支出	役員渉外費支出			0					
小計				0	0	0			
旅費交通費支出	旅費交通費支出	旅費支出			0				
		交通費支出	7,920	3,220	4,700				
		宿泊費支出			0				
小計				7,920	3,220	4,700			
参加記念品代支出			0						
保険料支出	3,600	1,700	1,900						
通信費支出			0						
販売物品仕入支出			0						
雑費支出	10,000	10,525	-525						
事業予備費支出			2,840						
余剰金					27,935				
支出合計				137,000	118,000				

●余剰金 27,935 については本理事会承認後、事業予備費に繰入れる。

収支計算明細書(案)

事業名 新入会員研修

<収入明細書>

中科目	小科目	細目	摘要	予算額	決算額	差異	備考
事業費繰入収入	事業費繰入収入			50,000	50,000	0	
	事業予備費繰入収入			52,000	52,000	0	
登録料収入			@1,000	35,000	16,000	19,000	
						0	
						0	
合 計				137,000	118,000	19,000	

<支出明細書>

中科目	小科目	細目	摘要	予算額	決算額	差異	備考	
事業費支出	会場設営費支出	会場費支出	大会議室使用料	11,600	11,600	0	しまなみ交流館	
		設営費支出	冷暖房	4,400	0	4,400	しまなみ交流館	
		会場費支出	マイク	600	800	-200	しまなみ交流館	
		レンタル料支出	自転車 @500	16,500	5,000	11,500	駅前港湾岸駐車場	
						0		
						0		
						0		
	小 計				33,100	17,400	15,700	
	講師関係費支出	旅費交通費支出	博多～新尾道 往復	22,340	20,140	2,200	フジトラベル	
		宿泊費支出		16,000	15,500	500	グリーンヒルホテル	
		昼食代	20日昼食 弁当・お茶	1,000	1,000	0	やすもと	
						0		
						0		
						0		
	小 計				39,340	36,640	2,700	
	資料作成費支出	通信費支出	JCカード輸送費	2,000	1,380	620	西濃運輸他	
		レンタル料支出	JCカード3セット	3,000	3,000	0	(公社)日本青年会議所	
		作成費支出	印刷代	200	200	0	事務局	
						0		
						0		
						0		
	小 計				5,200	4,580	620	
	懇親会費支出	飲食費支出	弁当・お茶 @1,000	35,000	16,000	19,000	やすもと	
						0		
						0		
						0		
						0		
					0			
小 計				35,000	16,000	19,000		
旅費交通費支出	交通費支出	フェリー代 @70(片道)	4,620	1,820	2,800	福本渡船		
	交通費支出	因島大橋通行料 @50(片道)	3,300	1,400	1,900	本州四国連絡道路株		
					0			
					0			
					0			
					0			
小 計				7,920	3,220	4,700		
参加記念品代支出						0		
保険料支出				3,600	1,700	1,900	ラブワン	
通信費支出						0		
販売物品仕入支出						0		
雑費支出		セミナー開催負担金及び振込手数料	10,000	10,525	-525	(公社)日本青年会議所		
事業予備費支出				2,840				
余 剰 金					27,935			
支 出 合 計				137,000	118,000			

(社) 尾道青年会議所 事業計画 (案) 予算 (案)

審議 事項

委員会名：LOVEしまなみ委員会

委員長名：河井 茂

(1) 議案名 卒業例会 事業計画 (案) 予算 (案) に関する件

(2) 事業名 卒業例会 テーマ「心ひとつに」

(3) 事業目的 (趣旨)

a. (対外)

b. (対内) 2011年度(社)尾道青年会議所の活動も間もなく終わり、2012年度へと移ろうとしているこの時、本年度は6名の方が(社)尾道青年会議所をご卒業されます。卒業される皆様が長きにわたってJC活動を続け、ご活躍されて来られたこと、それは決して一人の力ではなく、諸先輩方から受け継がれてきた尾道JCの心を、今この場にいるメンバーと「ひとつ」に出来たからではないでしょうか。そこで、本年度の卒業例会ではテーマを「心ひとつに」と題し卒業式を開催します。卒業生がJC生活を振り返る中でご自分の良き理解者となってくれた方々を、そして、仲間たちと共に歩んできた活動を思い出し、ご卒業されても現役メンバーと、いつも心はひとつであるということを胸に刻めるような場にしたいと考えます。また、若い力で走りぬけてきた2011年度の活動を振り返り、1年を締めくくる場にしたいと思います。

(4) 事業内容

a. 実施日時 2011年 12月15日(木) 18:00~18:15 (セレモニー)
18:15~19:45 (卒業例会)

b. 場 所 尾道国際ホテル

c. 予算総額 ¥668,885 (詳細は別紙予算書)

d. 参加人員 内部 93名 外部 44名 計 137名
(外部内訳：特別会員 19名 OB会員 25名)

e. 動員計画

f. 外部協力者

g. 実施組織・推進リーダー LOVEしまなみ委員会 委員長 河井 茂
委 員 寺下 弘記

h. 実施手順・プログラム

2011年	10月25日(火)	第11回正副理事長会議	協議
	11月 7日(月)	第11回理事会	協議
	11月25日(金)	第12回正副理事長会議	審議
	12月 7日(水)	第12回理事会(新旧)	審議
	12月15日(木)	実施	

(5) 過去の検証・本年の工夫と期待される効果

本年度のタイムスケジュールを検討する中で、18:00開催としました。過去の開始時間と現役会員、OB諸先輩方の出席数を検証し、早い開始時間でも出席者が減少するということはなく、卒業式の終了時間を19:45として、のちの懇親会や各委員会ごとの懇親会の時間も考慮致しました。

花束贈呈は、卒業生1名に対して、本年度所属の委員会より委員長が代表してお渡し頂き、それ以外の花束や記念品などは受付にて一旦お預かりさせていただきます。

(6) 審議のポイント

内容・予算について

(7) 会議での意見とその対応

意見) 花束は各委員会で用意するのか。

対応) 当委員会でご用意いたします。

(8) 他委員会への依頼事項等

卒業生をお送りする例会ですので、全メンバーの出席をお願いします。卒業生にはリハーサルを行って頂きたいと考えております。つきましては、17:20までには、会場入りできるように、卒業生の送迎についてはよろしくご配慮お願い致します。

(9) 添付資料

事業収支予算書(案)

収支予算明細書(案)

卒業例会次第(案)

卒業例会会場レイアウト(案)

卒業例会懇親会次第(案)

卒業例会懇親会会場図(参考資料)

理事会 2011年12月 7日

事業収支予算書(案)

事業名 卒業例会 テーマ「心ひとつに」

収入の部							
大科目	中科目	小科目	細目	前年度予算	本年度予算	差異	備考
事業収入	事業費繰入収入	事業費繰入収入		224,934	215,232	9,702	
	事業費繰入収入	事業予備費繰入収入				0	
	登録料収入			0	0	0	
	懇親会収入			447,599	452,152	-3,551	
	販売収入					0	
	広告料収入					0	
	負担金収入					0	
補助金等収入	雑収入			1,975	1,501	474	
	国庫補助金収入					0	
	地方公共団体補助金収入					0	
	民間補助金収入					0	
	国庫助成金収入					0	
	地方公共団体助成金収入					0	
寄付金収入	民間助成金収入					0	
	寄付金収入					0	
	募金収入					0	
収入合計				674,508	668,885	-20,375	

支出の部												
大科目	中科目	小科目	細目	前年度予算	本年度予算	差異	備考					
事業費支出	事業費支出	会場設営費支出	人件費支出			0						
			食事代支出			0						
			会場費支出			0						
			設営費支出			0						
			旅費交通費支出	7,000	7,000	0						
			運送費支出			0						
		レンタル料支出			0							
		小計				7,000	7,000	0				
		企画演出費支出	企画演出費支出	企画演出費支出	人件費支出			0				
					食事代支出			0				
					企画費支出			0				
					演出費支出	6,665	10,234	-3,569				
		小計				6,665	10,234	-3,569				
		本部関係費支出	本部関係費支出	本部関係費支出	旅費交通費支出			0				
					通信費支出			0				
					運送費支出			0				
					消耗品費支出			0				
					レンタル料支出			0				
					保険料支出			0				
					渉外費支出			0				
					小計				0	0	0	
					講師関係費支出	講師関係費支出	講師関係費支出	食事代支出			0	
								旅費交通費支出			0	
		宿泊費支出						0				
		保険料支出						0				
		諸謝金支出						0				
		会合費支出						0				
小計						0						
広報費支出	広報費支出	広報費支出	運当費支出			0						
			会場費支出			0						
			設営費支出			0						
			通信費支出			0						
			消耗品費支出			0						
			レンタル料支出			0						
			作成費支出			0						
			PR費支出			0						
小計				0	0	0						
資料作成費支出	資料作成費支出	資料作成費支出	通信費支出			0						
			資料費支出	1,200	1,200	0						
			消耗品費支出			0						
			レンタル料支出			0						
小計				1,200	1,200	0						
報告書作成費支出	報告書作成費支出	報告書作成費支出	通信費支出			0						
			資料費支出			0						
			消耗品費支出			0						
			レンタル料支出			0						
小計				0	0	0						
懇親会費支出	懇親会費支出	懇親会費支出	人件費支出			0						
			会場費支出			0						
			設営費支出			0						
			旅費交通費支出			0						
			運送費支出			0						
			レンタル料支出			0						
			保険料支出			0						
			飲食費支出	612,533	607,384	5,149						
小計				612,533	607,384	5,149						
渉外費支出	渉外費支出	渉外費支出	役員渉外費支出			0						
			記念品代支出			0						
小計				0	0	0						
旅費交通費支出	旅費交通費支出	旅費交通費支出	旅費支出			0						
			交通費支出			0						
小計				0	0	0						
参加記念品代支出	参加記念品代支出	参加記念品代支出	参加記念品代支出			0						
			保険料支出			0						
			通信費支出			0						
			販売物品仕入支出			0						
			雑費支出			0						
			事業予備費支出			47,110	43,067	4,043				
支出合計				674,508	668,885	5,623						

2011年度（社）尾道青年会議所 卒業例会 次第（案）

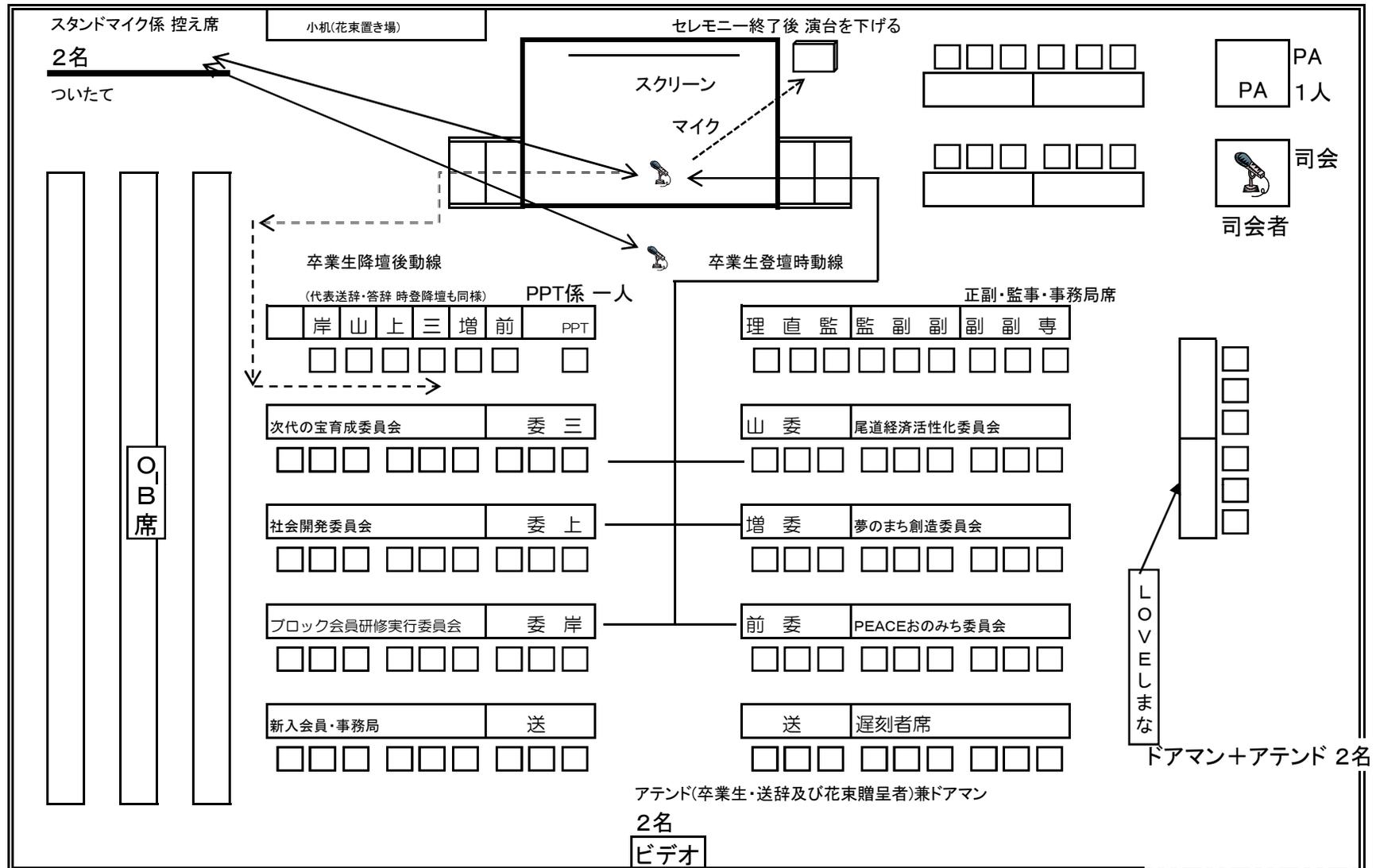
日時：2011年12月15日(木)
18:15 ～ 19:45
場所：尾道国際ホテル

卒業式 テーマ「心ひとつに」

- | | | |
|-----|---|-------|
| 1. | 開 会 | 18:17 |
| 2. | 卒業生入場 | |
| 3. | 委員長趣旨説明 | 18:18 |
| 4. | オープニング（卒業生紹介） | 18:20 |
| 5. | 卒業生紹介 送辞・答辞 | 18:25 |
| | 紹介PPT1.5分 登壇・降壇1分 送辞4分 答辞3分 花束贈呈0.5分
一人当たり10分 × 6人 = 60分 | |
| 6. | 現役会員代表送辞 | 19:25 |
| | 卒業生登壇1分 代表送辞4分 | |
| 7. | 卒業生代表答辞 | 19:30 |
| | 代表答辞4分 卒業生降壇1分 | |
| 8. | エンディング（2011年度の活動を振り返る映像） | 19:35 |
| 9. | 卒業生退場 | 19:42 |
| 10. | 閉 会 | 19:45 |

卒業例会終了後、懇親会を行います。

2011年度 卒業例会会場レイアウト(案)



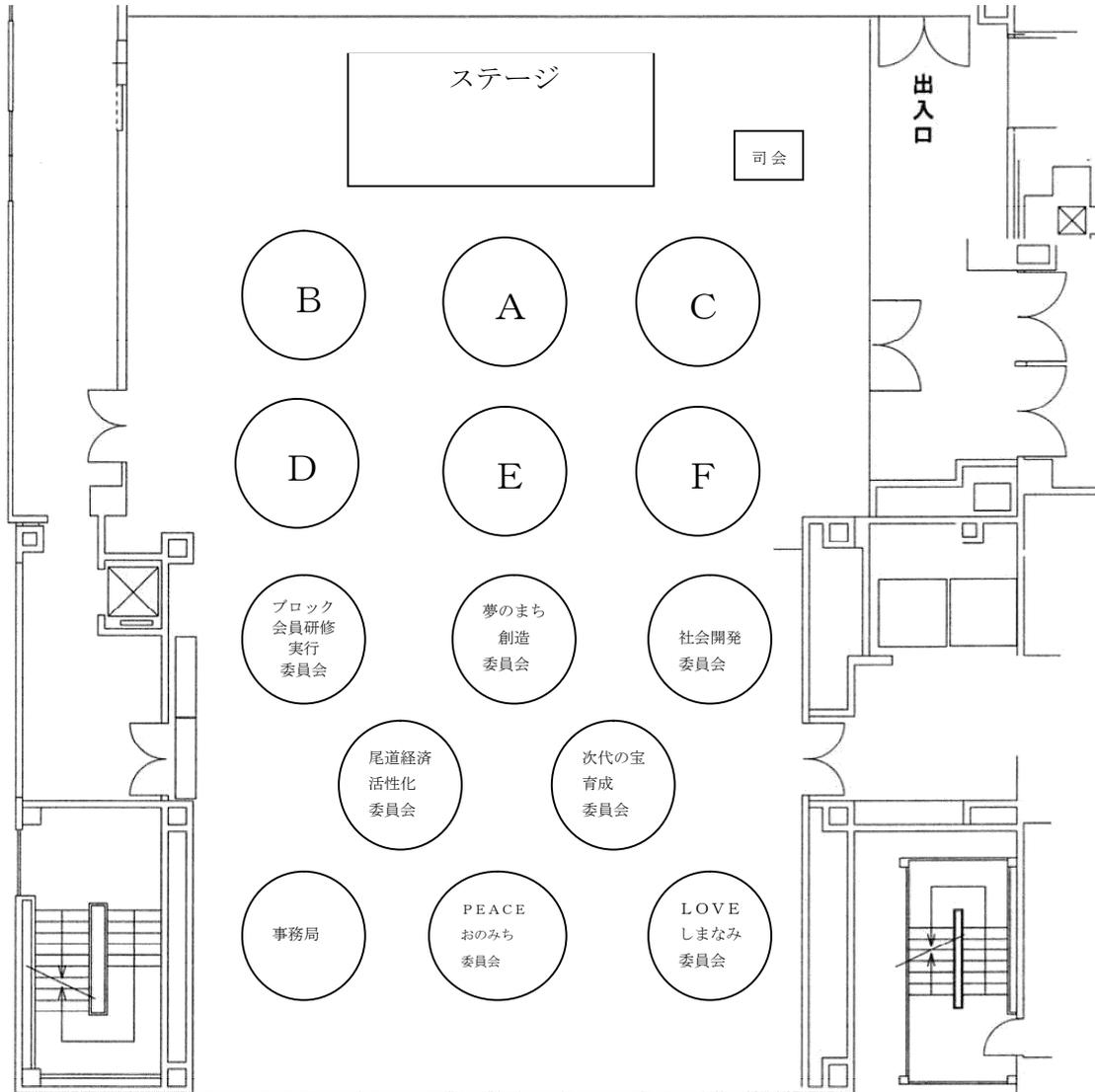
前:前川卒業生 増:増田卒業生 三:三阪卒業生 上:上田卒業生 山:山本卒業生 岸:岸上卒業生
送:各卒業生 送辞担当者 (花束贈呈は各委員会の委員長にお願いします)
理:理事長 直:直前理事長 監:監事 副:副理事長 専:専務理事
委:各委員会 委員長

2011年度(社)尾道青年会議所 卒業例会 懇親会 次第(案)

日時2011年12月15日(木)
20:00 ~ 21:15

1. 懇親会開会 20:00
2. 理事長挨拶
3. OBご紹介
4. OBご挨拶
5. 乾杯
6. ご歓談
7. 若い我ら合唱
8. 中締め挨拶
9. 懇親会閉会 21:15

2011年度（社）尾道青年会議所 卒業例会 懇親会 会場図（参考資料）



絆

～希望への道～

2012年度 理事長

村上 伸一

(社)尾道青年会議所は、1957年に県内4番目の青年会議所として設立され青年会議所運動が始まり56年間継承され本年度創立55周年を迎える事となりました。

これまで数多くの先輩方が「明るい豊かな社会」の実現を目指し様々な事業や活動を行い、尾道のまちづくり・ひとづくりに大きく貢献し、輝かしい実績を残しております。

本年度は、55周年という節目の年を迎えるにあたり、新たな時代に向け故郷の為に、地域社会に貢献し青年経済人として、更なる活動に邁進して行きましょう。

昨年3月11日、東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）が発生しました。この地震は戦後日本で起こった地震の中で最も大きな地震だったと思います。今もなおこの震災の被害で苦しんでいる人たちが大勢いる中、私たちは何ができるのでしょうか。物資の支援も大事ですが、全国各地の青年会議所のネットワークを活かした被災地への協力が、人と人との「絆」、復興への道へと繋がると考えます。

しかし、この震災で学んだ事がたくさんある事を決して忘れてはいけません。自然の恐ろしさ、脅威を日本中が震撼した事と思います。未曾有の災害で済ませる事なく、支援・協力を行ってきたボランティアの人々、全国の青年会議所メンバーを誇りに思います。その被災地での被害を受けながら、青年会議所メンバーとして活動に邁進されたメンバーの人たちに人間としての「絆」を感じました。その行動に希望・未来を感じた人たちがたくさんいる事と思います。

青年会議所が発信する運動・活動・言葉を通じて多くの人々が復興に取り組み、参加する事が「希望」となるのです。

近年尾道は観光のまちとして全国から大勢の人が訪れています。派手な観光名所はありませんが、昔からの神社仏閣や歴史的な建造物、まつりにちなんだ伝統文化がたくさんあります。さらに近年は、島々を自転車で渡る事のできるサイクリングロードなど、自然との調和の美しいまちとして注目されています。

その素晴らしさをもっと全国に向け発信していく為にも、様々な事業を考え(社)尾道青年会議所の活動は興味を持てると、尾道市民は基より全国の人からも思ってもらえる様な事業を創りたいと考えます。

今の子どもたちの多くは情報豊かで便利な生活に慣れてしまい、大切な何かを忘れていないのでしょうか。便利な生活は人と人との会話を減らし、コミュニケーション不足を生み出しているのが現状です。直接相手と向かい合うことなく、パソコンや携帯の画面

で会話をを行います。そのような希薄な生活が昨今の道徳性に欠けた秩序のない子どもたちをつくりあげている原因の一つです。

メディア等情報機関が全て悪いとは言いません。例えば尾道のまちが様々なメディアに取り上げられたりする事により、子どもたちが自分の住んでいるまちに興味を持ち、誇りを持ち、その気持ちが追及心や探究心をおこし興味を持った事を地域の大人に聞き他人との関わりを増やして行くことにつながります。それこそが今の子どもには必要なのではないのでしょうか。

人と人との繋がりは、他人の価値観で量れるものではなく家族以外の友達との「絆」が宝である事を、私たちの活動を通じて子どもたちに伝えて行きたいと考えます。

同時に故郷にある様々な伝統文化の継承も、尾道の発展、子どもたちの教育にも不可欠なものと考えます。故郷を知るということは誇りとなり、自信となり、自分を大きく育てるものになります。小さな繋がりが大きな発展につながります。

全国的に問題になっている各地青年会議所会員の減少は深刻な問題でもあり、早急に解決しなければならない課題となっております。

私たちの活動は決して一人ではできるものではありません。まだたくさんの同じ志をもった人たちがいるはずです。会員拡大活動は次世代のそういう思いをもっている人たちを発掘する事です。まだ会員候補として眠っている人は宝石に例えれば原石です。原石は埋もれたままではただの石ですが、それを掘り起し、磨けば磨くほど輝いていきます。その原石である会員候補を掘り起し、会員活動を通じて己を磨くことによって得るものはたくさんあります。自己のスキルアップ・一生を語り合える友を探す、故郷を知る、人との関わり合いの中でたくさんのものを得て、原石を宝石に変えて、尾道を盛り上げる事のできる人材発掘を目指し一人でも多くの方に理解と賛同を頂き会員の拡大に努めます。

青年会議所活動に於いても LOM に留まることなく、広島ブロック協議会、中国地区協議会、日本青年会議所のメンバーとの交流を積極的に行っていきます。対外環境に身を置くことは自分の環境や人生を変え個人を強くする事となり、出向や諸大会・事業の参加は自己啓発などの絶好の場でもあります。

外に出てみれば今まで気付かなかった自己の魅力に気付く事になります。知らない自分を知ることによって、その事について、語り合い励まし合い共に成長する仲間がたくさんできます。

各地・各協議会で積極的に活動に参加する事によって得た知識や経験を必ずや知恵に変え自分のちからとして LOM に持ち帰り、それを LOM 内で発揮することにより LOM になくてはならない人間と成さしめます。

昨年度、(社)尾道青年会議所は一般社団法人化に向けての意思決定を行いました。

2013年11月をもって新制度に完全に移行されるにあたり対応を行っていかなくてはなりません、基本的には私達の思いや行動が変わることはありません。56年間継承され続けてきた数々の事業を、「明るい豊かな社会」の実現のための更なるステップアップで

きる機会として捉え、J C活動に自ら限界を作らず挑戦し、情熱を持って志しを高く掲げ、魅力ある（社）尾道青年会議所を築き上げていきましょう。

（社）尾道青年会議所のメンバーとして全ての活動に自信と誇りを持ち、
1度しかない2012年を志し高く
自分らしく
希望あふれる1年間にしましょう。

「 雄々しく 」

2012年度 政策室
副理事長 安部 昭一郎

昨年起きた未曾有の震災と原発事故で、日本は大きな国難に遭遇しました。その被害が今もなお続き、解決の糸口さえ掴めていない中でも、多くの人たちが明るい未来を信じ、ボランティア・協力・支援といった形で現地はもとより各地で行動を起こされています。

震災直後、この大災害を生き抜き、被災者としての自らを励ましつつ、相携え、いたわり合い、人の繋がりである『絆』を大切にして、この不幸な時期を乗り越えて行こうとしている姿を、今上陛下は「雄々しい」と表現され、深く胸を打たれたと仰せられています。海外においても、この深い悲しみの中で、日本人が取り乱すことなく助け合い、秩序ある対応を示していることに触れ、日本人の精神の高尚さを称えた論調も数多くありました。

我々は今一度、精神的美意識である「雄々しさ」を各々が心の中に持ち得ているという誇りを取り戻さなければなりません。そして、この「雄々しさ」は、国民にこそ非常時にある姿として捉えられていますが、我々JAYCEEにとっては日々常にあるべき姿なのではないでしょうか。「英知と勇気と情熱」をもって。

これからの「尾道の未来」、それは言うに及ばず「日本の未来」でもあります。その「未来」を思い描き、想像する時、この「雄々しさ」を常に胸に携えていれば、「未来」を切り開くために今必要な課題を我々は必ず見つけることができるはずです。そして、その課題に仲間と真剣に取り組むことで、将来必ずや明るい豊かな社会を築き上げることができるでしょう。

また、尾道の将来を、そして日本の将来を背負って立って行く「未来の宝」である子ども達に、我々の後ろ姿を見せ、しっかりとその精神を伝えて行くことも我々の使命です。これからの混沌とした世の中を、子ども達に「雄々しく」生き抜いて行ってもらうことこそが、我々の「希望」だからです。

「 ころろ 」

2012年度 社会開発室
副理事長 萩原 功

わがLOMは、本年度創立55周年を迎えます。

この55年もの間、多くの先輩方が数多くの事業を立ち上げ、実行し、運営し、その中のいくつかの事業は検討を重ね継続事業として、あるいは他団体に譲渡して今に至った事業も少なくありません。

脈々と受け継がれた事業には、多くの先達の知恵や情熱が注ぎ込まれています。それは、個人之力だけではなく多くの人のつながり・絆によって成り立っているといっても過言ではないと思います。またその知恵・情熱といったものは、心意気・心映えといった言葉に置き換えることもできるのではないのでしょうか。

翻って、今の尾道青年会議所にその心意気・心映えといったものがあるのでしょうか？

担当の事業だけでなく、他の事業でももっと良くするにはどうすればよいか？自分ができることは何か？自分の役割は何か？と自分の事として真剣に考えているメンバーがどれだけいるのでしょうか？

皆が「ころろ」を一つにして事業に取り組めば、それだけでより大きな力となります。

また真剣に議論・討議・ぶつかり合いをすることによって、相手の考え方も理解でき、そのことによって信頼関係・友情といったことも生まれ、それはとりもなおさず「ころろ」のつながり、「絆」となります。

本年度の社会開発室では、この55年間培ってきた尾道青年会議所の皆の「ころろ」を一つにして事業に取り組んでいきます。

本気でぶつかり合い腹を割って話し合うことによって事業をより良いものとし、その事業が終わった後は皆で泣けるようなそんな心意気・心映えを持った尾道青年会議所にしていきましょう。

「 原 点 」

2012年度 総務室
副理事長 本多 隆士

55年という歴史と伝統ある尾道青年会議所会員として今一度考えましょう。

我々は何故JC活動をしているのでしょうか。

我々は明るい豊かな社会実現のため‘率先して行動’する団体です。
継承された理念を今一度共有し、会員一人一人が情熱を持って行動を起こそう。
会員間・新たなる仲間との絆を築き、この尾道を誇りあるまちにしよう。
後悔しない2012年度を！

「 For Dream For Smile 」

2012年度 55周年実行特別委員会
実行委員長 幡中 幹生

夢の実現に向かって
技を磨き、心を磨き、共に成長してゆこう
先達が築きあげた55年の歴史と伝統
受け継がれた魂（こころ）を胸に

みんなの笑顔にあふれる明日に向かって
喜びの種をまこう
喜びの花を咲かせよう
このまちのために
このまちを愛する人々のために

テーマ「One for all, All for one」

ひとはみんなのために、みんなはひとりのために。
この言葉にこめられた意味を私は次の様に理解する。
一人の力が強くなければ皆を支える事はできない。
皆の力が強くても絆がなければ一人も支える事はできない。

未曾有の大災害、先行き見えない経済情勢、地域社会の見えない崩壊、治安の悪化、教育環境の変化など、日本を取り巻く状況は非常に厳しく、決して楽観視できるものではない。しかし、我々が今一度、雄々しく生きる事を見つめ直し、実行していくことで状況を変えていける事も確かなことだろう。

先人達の思いに今一度目を向ける必要もあれば、現代に生きる我々だからできる事もある。過去と現在の力を融合し、明るい豊かな未来である様に我々のビジョンを発信していこう。

春には桜の美しさを、夏には祭りの活気を、秋には大地の実りを、冬には寒さを忘れるほどの友情を、皆で分かち合い、絆を深めていこう。

一つ一つの絆が大きき力となり、皆を支える事ができるように。

One for all, All for one

事業計画	時期	予算
未来を切り開く魅了溢れる育成の調査・研究・実践	通年	200,000
中・長期的な尾道のビジョンを視野とした調査・研究・実践	通年	100,000
桜保存基金の管理・運営	通年	500,000
例会行事	9月	60,000
会員拡大の実践	通年	
創立55周年記念事業の企画・運営参画(海フェスタへの参画)	7月	
合計		760,000

テーマ「笑顔溢れる素敵なまちづくり」

私たちにできる教育とはなんでしょうか。共育ではないでしょうか。

共に育み、共に育ち、人と人が繋がり絆が芽生え、子どもの笑顔溢れるまち、そんな子どもが主役のまちづくりこそがこれからは必要ではないでしょうか。

尾道がもっと笑顔溢れる素敵なまちへと成長していくために求められること。

このまちに暮らす一人ひとりの人が、日々のお出逢いやふれあいを通してともになにかを見つめあい、感じあい、学びあう。そこで生まれる絆。

おとなと子どもがいっしょに支えあい、育みあい、育ちあいながら、まちの暮らしをもっと心豊かに育んでいく。共育のまちは、ともに生きる喜びに満ちあふれています。そこには、未来の希望への道に繋がる毎日が待ち受けています。

世代を越えて、時代を超えて、子どもたちが変わらない笑顔に近づき、暮らせるように。人がともにふれあい、ともに絆を深め、ともに生き、ともに輝くまちをつくること。

それが我々親世代である青年会議所の担いではないでしょうか。

未来の宝である子どもたちのために、笑顔溢れる素敵なまちの実現に向けて雄々しく頑張らしましょう。

事業計画	時期	予算
次世代育成事業の調査・研究・実践	通年	350,000
親の教育力向上事業の調査・研究・実践	通年	200,000
会員ならびに会員家族の交流事業の研究・実践	4月	
例会行事	3月、11月	120,000
会員拡大の実践	通年	
創立55周年記念事業の企画・運営参画(海フェスタへの参画)	7月	
合計		670,000

テーマ「 彩 」

先人達の成された事業にはいつも将来への希望が込められていたことと思います。それは即ち「豊かさの探求」であったと思います。

その先人達の情熱の灯火をたやさないためには、それらを尊ぶ気持ちがなくてはなりません。また、それらを受け継ぎ、昇華させるには我々の血の通った繋がり絆がなくてはなりません。

人はそれぞれ「思い」「こころ」という色を持ちます。

我々は一人一人の「色」を尊重し、先人達の思いにさらなる色を重ねて、「彩」にしていきたいと思えます。

事業計画	時期	予算
地域の特性を生かしたまちづくりへの調査・研究・実践	通年	
尾道の伝統文化の調査・研究・実践	通年	
例会事業	6月	60,000
しまなみ3JCへの参画	通年	
会員拡大の実践	通年	
創立55周年記念事業の企画・運営参画(海フェスタへの参画)	7月	
合計		60,000

テーマ「共 創」

わたしが両手をひろげても、
お空はちっともとべないが、
とべる小鳥はわたしのよう、
地面(じべた)をはやくは走れない。

わたしがからだをゆすっても、
きれいな音はでないけど、
あの鳴るすずはわたしのよう、
たくさんのうたは知らないよ。

すずと、小鳥と、それからわたし、
みんなちがって、みんないい。

金子みすゞ「私と小鳥と鈴と」

未曾有の不景気といわれている今日、我々に何が出来るでしょうか？

一人では思うように出来ないかもしれません。しかし、我々一人ひとりそれぞれが素晴らしい光るものを「持っている」と思います。

どんな困難でもメンバー同士、より「絆」を深め、「こころ」をひとつにし、本気で物事に取り組めば必ず乗り越えていけるでしょう。

これからの明るい未来を、そして尾道という明るい豊かな「まち」を共に創りあげていきましょう。

事業計画	時期	予算
尾道のビジネスビジョンの育成の調査・研究・実践	通年	200,000
地域における企業価値の向上を目指した 経営力向上事業の調査・研究・実践	通年	
夏期講習	8月	300,000
例会行事	2月	60,000
会員拡大の実践	通年	
創立55周年記念事業の企画・運営参画(海フェスタへの参画)	7月	
合計		560,000

テーマ「100%」

人間にとって最大の危険は、
高い目標を設定して達成できないことではなく、
低い目標を設定して達成し、満足してしまうことである

ミケランジェロ

我々には定められた目標があります。
それらの目標を見極め、あらゆる手法で達成に向かう。
時には遠回りもするでしょう。
間違っていたのか、正しかったのか、実行し、経験した者でなければわかりません。
たとえその判断が間違っていたとしても、
全力で取り組むことで、感動を得ることが出来ます。
そしてそれは、同時に多くの絆を得ることも出来るのです。

日常生活、仕事、JC活動、100%の力を出し切っていますか？
もし1%でも余力があるのであれば、なぜ全力を出し切れていないか考えましょう。
したくても出来ない？したくないから出来ない？余力に気付いていない？
いずれかでしょう。
あなたはなぜ、尾道青年会議所に所属しているのですか？
今一度、自身に深く問い、原点に戻り、目標を見つめ、100%の力で行動し、
多くの仲間と共に、感動と絆を共有できる1年にしましょう。

事業計画	時期	予算
会員拡大の調査・研究・実践	通年	70,000
新入会員ガイダンス	7月	50,000
新理事研修	8月	60,000
仮入会研修	9月	50,000
新入会員研修	11月	50,000
例会行事	4月	60,000
創立55周年記念事業の企画・運営参画(海フェスタへの参画)	7月	
合計		340,000

テーマ「平常心」

降らずとも雨の用意 千利休

何か行動を起こす時に、最悪の可能性のことも心の片隅に置いておこう。
十分な準備と、適度な緊張感があれば、心に遊びが生まれどんな困難な時でも
平常心でいられる。

その心で原点を見つめれば、本質から外れることはないだろう。

そして、平常心を以て我々が今為すべきことをやろう。

どんな小さなことでも、すでに形が出来上がっていることでも、全てに理由がある。

必ず誰かの役に立てる。

必ず自分の血肉となる。

歩いた跡には絆が生まれている。

事業計画	時期	予算
例会・総会の設営及び運営	通年	14,000
全般的な庶務の遂行	通年	410,000
例会行事	10月	60,000
ゆかた会	7月	100,000
卒業例会	12月	60,000
活動記録の整理・保存及び広報活動の実践	通年	960,000
定款・運営規定の調査・研究	通年	
会員拡大の実践	通年	
創立55周年記念事業の企画・運営参画(海フェスタへの参画)	7月	
合計		1,604,000

55周年実行特別委員会

副実行委員長 川原 浩太

副実行委員長 村上 弘一

テーマ「ムーブメント！」

変えたい！変わりたい！と思って、何日・何ヶ月・何年がたちましたか？

過去は変えられないが、自分の意思決定で未来は変えることができる。

いつかいつかと思うなら、今…

行動しようや！まずやってみようや！ええじゃん、少しくらい失敗しても…

先人から受け継がれてきた『尾道』という最高の形容詞を使わせて頂いている事に恩返しをするチャンスがやってきた。

メンバーとの絆を大切にし、同じ時代に生きる縁の不思議さと喜びを共有し、関係する多くの方々と感動を分かち合うため、邁進致します。

事業計画	時期	予算
創立55周年記念式典の企画・運営(例会行事)	5月	500,000
創立55周年記念事業の企画・運営(海フェスタへの参画)	7月	5,500,000
新年宴会	1月	200,000
クリスマス会	12月	200,000
会員拡大の実践	通年	
合計		6,400,000

事務局

専務理事	太田 雄介
事務局長	河井 茂
財政局長	辻 健志
セクレタリー	石森 良
セクレタリー	美ノ上仁孝
セクレタリー	森石 貴裕

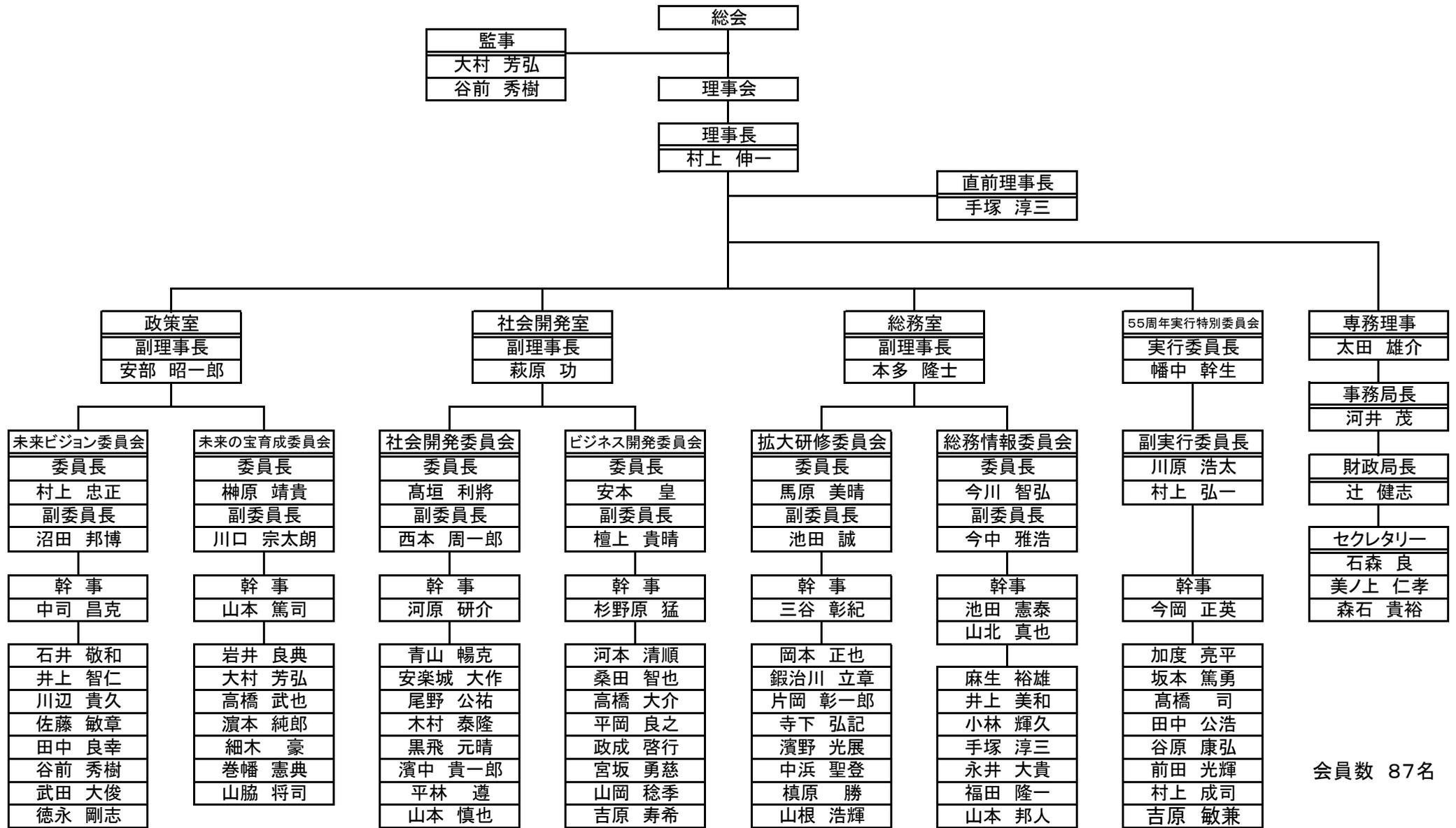
テーマ「今、この時を」

一度しかない、2012年度という「時（とき）」を皆で一丸となって同じ方向を向き、歩みを進め、そして皆で「絆」を深め、更なる（社）尾道青年会議所の歴史を刻みましょう。

激動の時代。前に進むために必要なのは追い風ではなく、向かい風。風を全身に受けながら、誇り高く抱かれた志。志を高くし、新しい行動へと突き動かす JAYCEE の力。私利私欲を超えた信念は、たとえどんな困難があろうとも、貫き通す真の力であると信じます。

本年度、（社）尾道青年会議所は創立55周年を迎えます。また、公益法人制度改革の折、我々は一般社団法人への移行へ向けて歩み出しています。まさにこの節目の年を、悔いのない充実した一年とするためには、効率的な事務局の運営管理を行いながら、全体としての会計処理や一般事務処理に正確さをもって取り組むことはもちろん、各委員会との横の繋がりを積極的にもち、会員が組織全体の業務を理解できる事務局づくりを目指して参ります。

2012年度(社)尾道青年会議所 委員会構成図(案)



会員数 87名

(社) 尾道青年会議所 事業計画 (案) 予算 (案)

審議 事項

事務局

専務理事：太田 雄介

- (1) 議案名 2012年度 (社) 尾道青年会議所 一般会計収支予算 (案) に関する件
(2) 事業名 2012年度 (社) 尾道青年会議所 一般会計収支予算

(3) 事業目的 (趣旨)

- a. (対外)
b. (対内) 2012年度の予算を決定し、目的遂行の為の事業を円滑にする。

(4) 事業内容

- a. 実施日時 2012年 1月 1日 (日) ~ 12月31日 (月)
b. 場 所
c. 予算総額 円 (詳細は別紙予算書)
d. 参加人員 内部 名 外部 名 計 名
e. 動員計画
f. 外部協力者
g. 実施組織・推進リーダー

事務局長 河井 茂

財政局長 辻 健志

h. 実施手順・プログラム

2011年 10月11日 (火)	第3回正副理事長予定者会議	協議
10月14日 (金)	第3回理事予定者会議	協議
11月 9日 (水)	第4回正副理事長予定者会議	審議
11月17日 (木)	第4回理事予定者会議	審議
12月 7日 (水)	2011年度 第12回新旧理事会	審議

(5) 過去の検証・本年の工夫と期待される効果

本年度は、創立55周年記念式典並びに記念事業、及び広島ブロック協議会の支援を鑑み、管理費を見直しました。また、一般社団法人への移行にあたり、今後、広島県に公益目的支出計画及び事業報告を行っていかねばなりません。それに伴い、新しいフォーマットでの予算作成を行いました。

(6) 審議のポイント

予算について

(7) 会議での意見とその対応

意見) 交通費が去年より多く予算組しているが。

対応) 諸会議にLOMバスを出す計画をしています。

意見) 会議費はどのように算出されたのか。

対応) 会議費は会員1人当たり、例会1回につき693円×12ヶ月を計上しています。

それ以外に、理事会や合同委員会などの会場費などを加えた金額にて算出しました。

意見) 一般社団法人に移行するにあたって事業費から食事代を捻出してもいいのか。

対応) 今のところ広島県の見解では問題ないと判断しております。

(8) 他委員会への依頼事項等

(9) 添付資料

2012年度 (社) 尾道青年会議所 正味財産増減計算書 予算内訳表 (案)

2012年度 (社) 尾道青年会議所 収支予算書 (案)

2012年度 (社) 尾道青年会議所 一般収支予算 (案) 管理費明細

理事予定者会議 2011年11月17日

社団法人尾道青年会議所 正味財産増減計算書 予算内訳表(案)
2012年1月1日から2012年12月31日まで

(単位:円)

	実施事業等会計				その他の事業会計					法人会計	内部取引消去	合計
	1	2	3	小計	1	2	3	4	小計			
	桜保存に関する事業	青少年育成に関する事業	地域活性化に関する事業		例会	会員研修に関する事業	会員の親睦に関する事業	その他の庶務に関する事業				
I 一般正味財産増減の部												
1 経常増減の部												
①経常収益												
(3)受取会費										12,692,000		12,692,000
正会員会費										10,962,000		10,962,000
特別会員会費										270,000		270,000
OB会員会費										1,460,000		1,460,000
(4)事業収益	500,000	550,000	6,000,000	7,050,000	3,226,846	460,000	500,000	375,000	4,561,846	0	-11,611,846	0
事業費繰入収益	500,000	550,000	6,000,000	7,050,000	3,226,846	460,000	500,000	375,000	4,561,846		-11,611,846	0
登録料収益				0					0			0
広告料収益				0					0			0
負担金収益				0					0			0
(5)受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地方公共団体助成金				0					0			0
(7)雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	125,000		125,000
雑収入				0					0	120,000		120,000
受取利息				0					0	5,000		5,000
(8)他会計からの繰入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
特別会計からの繰入金				0					0			0
経常収益計	500,000	550,000	6,000,000	7,050,000	3,226,846	460,000	500,000	375,000	4,561,846	12,817,000	-11,611,846	12,817,000
②経常費用												
(1)事業費	500,000	550,000	6,000,000	7,050,000	3,226,846	460,000	500,000	375,000	4,561,846	11,611,846	-11,611,846	11,611,846
会場設営費				0	2,232,846				2,232,846			2,232,846
会場費					744,282							
食事代					1,488,564				1,488,564			1,488,564
企画演出費												0
本部関係費												0
講師関係費												0
広報費												0
資料作成費												0
報告書作成費												0
懇親会費												0
渉外費												0
旅費交通費												0
参加記念品代												0
保険料												0
通信費												0
販売物品仕入												0
雑費												0
事業予備費												0
(2)管理費										7,738,752	0	7,738,752
会議費										551,200		551,200
給与手当										1,470,400		1,470,400
福利厚生費										220,560		220,560
旅費交通費										350,000		350,000
通信・発送費										800,000		800,000
消耗品費										554,000		554,000
リース料										433,812		433,812
印刷製本費										810,000		810,000
光熱水料費										334,560		334,560
賃借料										1,291,320		1,291,320
租税公課										22,900		22,900
渉外費										500,000		500,000
雑費										400,000		400,000
(3)負担金										1,435,079		1,435,079
JCI負担金										77,604		77,604
日本JC負担金										495,000		495,000
地区協議会負担金										45,000		45,000
ブロック協議会負担金										300,000		300,000
国際協力資金支出										158,775		158,775
日本JC出向者負担金										60,000		60,000
We Believe購読料										261,000		261,000
その他LOM負担金										37,700		37,700
経常費用計	500,000	550,000	6,000,000	7,050,000	3,226,846	460,000	500,000	375,000	4,561,846	20,785,677	-11,611,846	20,785,677
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-7,968,677	0	-7,968,677
2 経常外増減の部												0
(1)経常外収益												0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用												0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額												-7,968,677
一般正味財産期首残高												
一般正味財産期末残高												

社団法人尾道青年会議所 収支予算書内訳表(案)
2012年1月1日から2012年12月31日まで

(単位:円)

	実施事業等会計				その他の事業会計				法人会計	内部取引消去	合計	
	1	2	3	小計	1	2	3	4				小計
	桜保存に関する事業	青少年育成に関する事業	地域活性化に関する事業		例会	会員研修に関する事業	会員の親睦に関する事業	その他の庶務に関する事業				
I 事業活動収支の部												
1. 事業活動収入												
(3) 会費収入										12,692,000		12,692,000
正会員会費収入										10,962,000		10,962,000
年会費収入										10,962,000		10,962,000
特別会員会費収入										270,000		270,000
OB会員会費収入										1,460,000		1,460,000
(4) 事業収入	500,000	550,000	6,000,000	7,050,000	3,226,846	460,000	500,000	375,000	4,561,846		-11,611,846	0
事業費繰入収入	500,000	550,000	6,000,000	7,050,000	3,226,846	460,000	500,000	375,000	4,561,846		-11,611,846	0
登録料収入				0					0			0
広告料収入				0					0			0
負担金収入				0					0			0
(5) 補助金等収入	0	0		0	0	0	0	0	0			0
地方公共団体助成金				0					0			0
(7) 雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	125,000		125,000
雑収入				0					0	120,000		120,000
受取利息収入				0					0	5,000		5,000
(8) 他会計からの繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
特別会計からの繰入金収入				0					0			0
事業活動収入計	500,000	550,000	6,000,000	7,050,000	3,226,846	460,000	500,000	375,000	4,561,846	12,817,000	-11,611,846	12,817,000
2. 事業活動支出												
(1) 事業費支出	500,000	550,000	6,000,000	7,050,000	3,226,846	460,000	500,000	375,000	4,561,846			11,611,846
会場設営費支出					2,232,846				2,232,846			2,232,846
会場費支出					744,282							
食事代支出					1,488,564				1,488,564			1,488,564
企画演出費支出												0
本部団関係費支出												0
講師関係費支出												0
広報費支出												0
資料作成費支出												0
報告書作成費支出												0
懇親会費支出												0
渉外費支出												0
旅費交通費支出												0
参加記念品代支出												0
保険料支出												0
通信費支出												0
販売物品仕入支出												0
雑費支出												0
事業予備費支出												0
(2) 管理費支出										7,738,752		7,738,752
会議費支出										551,200		551,200
給与手当支出										1,470,400		1,470,400
福利厚生費支出										220,560		220,560
旅費交通費支出										350,000		350,000
通信・発送費支出										800,000		800,000
消耗品費支出										554,000		554,000
リース料支出										433,812		433,812
印刷製本費支出										810,000		810,000
光熱水料費支出										334,560		334,560
賃借料支出										1,291,320		1,291,320
租税公課支出										22,900		22,900
渉外費支出										500,000		500,000
雑支出										400,000		400,000
(3) 負担金支出										1,435,079		1,435,079
JCI負担金支出										77,604		77,604
日本JC負担金支出										495,000		495,000
地区協議会負担金支出										45,000		45,000
ブロック協議会負担金支出										300,000		300,000
国際協力資金支出										158,775		158,775
日本JC出向者負担金支出										60,000		60,000
We Believe購読料支出										261,000		261,000
その他LOM負担金支出										37,700		37,700
事業活動支出計	500,000	550,000	6,000,000	7,050,000	3,226,846	460,000	500,000	375,000	4,561,846	9,173,831	0	20,785,677
事業活動収支差額	0	0	0	0	0	0	0	0	0			-7,968,677
II 投資活動収支の部												
1. 投資活動収入												
(1) 特定資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,800,000		4,800,000
周年事業積立資産取崩収入				0					0	4,800,000		4,800,000
投資活動収入計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,800,000	0	4,800,000
2. 投資活動支出												
投資活動支出計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,800,000	0	4,800,000
III 財務活動収支の部												
1. 財務活動収入												
財務活動収入計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2. 財務活動支出												
財務活動支出計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IV 予備費支出											0	
当期収支差額												-3,168,677
前期繰越収支差額												
次期繰越収支差額												

2012年度(社)尾道青年会議所 一般収支予算(案)管理費明細

項目	細目	金額	備考	前年予算	対前年比
給与手当支出	月額給料	1,298,400	給与730×140×12ヶ月 交通費6,000×12ヶ月	1,547,440	109.27%
	賞与	172,000	賞与100,000 特別手当 72,000		
	小計	1,470,400			
福利厚生費支出	社会保険	220,560	(月給+賞与)×15%		
	小計	220,560			
中計		1,690,960			
旅費交通費	交通費	350,000	LOMバス 等	200,000	175.00%
通信・発送費支出	葉書・年賀状・切手代等	370,000	切手代20,000(年間)、年賀状50,000(500枚) J C ライフ等発送費 300,000	500,000	160.00%
	電話料	420,000	N T T 18,375×12ヶ月、K D D I 14,000×12ヶ月、プロバイダ(アパソ)料31,500(年間)		
	その他	10,000	書留料、宅急便費 等		
	小計	800,000			
消耗品費支出	用紙代	72,000	6,000×12ヶ月	543,000	102.03%
	封筒代	65,000	長 3 6,000部 角 2 号1,500部		
	トナー代	68,000	レーザープリンター7,000×2回、インクジェットプリンター4,500×12回		
	自動印刷機等	257,040	21,420×12ヶ月		
	コピー機カレント料	24,000	2,000×12ヶ月 (平均)		
	その他	67,960	点検修理調整費		
リース料支出	リース料	433,812	パソコン・コピー&FAX複合機(輪転・丁合機 機能付き) リース料 36,151×12カ月	433,812	100.00%
印刷製本費支出	印刷製本費	810,000	会員手帳300,000円 J C ライフ470,000円 拡大パンフレット 40,000円	0	
	小計	810,000			
水道光熱費支出	電気代	276,000	23,000×12ヶ月 (平均)	334,560	100.00%
	ガス代	8,400	700×12ヶ月 (固定)		
	水道代	50,160	4,180×12ヶ月 (固定)		
	小計	334,560			
賃借料支出	事務所家賃	1,111,320	92,610×12ヶ月 (固定)	1,291,320	100.00%
	駐車場	180,000	15,000×12ヶ月(1台分) (固定)		
	小計	1,291,320			
租税公課支出	法人県民税	21,000	法人市民税申請により納税免除	22,900	100.00%
	印紙代	1,900			
渉外費支出	渉外費	500,000	他JC周年祝い金、会員結婚祝儀、香典、電報、他団体祝儀 等	450,000	111.11%
	小計	500,000			
雑費支出	清掃、消検費	100,000	下水道費、消防設備点検費、事務局内清掃費	346,440	115.46%
	バッジ・ネームプレート	0	バッジ1,500円×0名 ネームプレート1,300円×0名		
	警備費	31,860	2,655×12ヶ月 (固定)		
	清掃費(共用部分)	95,580	7,965×12ヶ月 (固定)		
	その他	172,560	輪転機保守料、振込手数料、登記料		
小計	400,000				
保険料支出	保険料	0			
合計	合計	7,187,552		5,669,472	126.78%

(社) 尾道青年会議所 事業計画 (案)

審議 事項

委員会：55周年実行特別委員会
副実行委員長：川原 浩太

- (1) 議案名 新年宴会 事業計画 (案) に関する件
- (2) 事業名 新年宴会 テーマ「笑う門には福来たる」 日時・場所
- (3) 事業目的 (趣旨)
- a. (対外)
 - b. (対内) 2012年度最初の事業である新年宴会を多数の出席者で盛大に行えるよう日時・場所を早期に決定し、皆様に出席頂きやすくする。
- (4) 事業内容
- a. 実施日時 2012年1月16日 (月) 19:30 ~ 21:30
 - b. 場 所 尾道国際ホテル
 - c. 予算総額 ¥
 - d. 参加人員 内部 87名 外部 65名 計 152名
(外部内訳：特別会員15名・OB会員50名)
 - e. 動員計画
 - f. 外部協力者
 - g. 実施組織・推進リーダー 55周年実行特別委員会 副実行委員長 川原 浩太
委員 前田 光輝
 - h. 実施手順・プログラム
- | | | |
|-----------------|-------------------|----|
| 2011年11月 9日 (水) | 第4回正副理事長予定者会議 | 審議 |
| 11月17日 (木) | 第4回理事予定者会議 | 審議 |
| 11月25日 (金) | 2011年度第12回正副理事長会議 | 審議 |
| 12月 7日 (水) | 2011年度第12回理事会 | 審議 |
| 12月 8日 (木) | 案内文章発送 | |
| 12月28日 (水) | 第6回正副理事長予定者会議 | 審議 |
| 2012年 1月 4日 (水) | 第1回正副理事長会議 | 追認 |
| 1月 5日 (木) | 第1回理事会 | 追認 |
| 2012年 1月16日 (月) | 実施 | |
- (5) 過去の検証・本年の工夫と期待される効果
- 日時・場所を早期に決定し早めに案内を流すことでOB、現役会員に周知を図り、より多くの方に出席頂けるようにします。
- (6) 審議のポイント
- 日時・場所について

(7) 会議での意見とその対応
意見)
対応)

(8) 他委員会への依頼事項等

昨年は例年より30分早く開催いたしました。今年も例年通り19:30からの開催となります。各委員長から開催時間の周知徹底と先輩方との貴重な交流の場となりますので、全員出席でのお願いをよろしくお願い致します。

(9) 添付資料

理事会 2011年12月 7日